

にいがた文化

第10号
2025年3月



表紙でたどる「にいがた文化」のあゆみ（中央が創刊号）

各号の主な内容と表紙説明は4ページ

チラシ・ポスターは
なくせない

アンケートから

郵便料金が上がった。チラシ発送などどう対応しているか、併せて発送作業の実態を聞いた（回答40館・団体）

「送る枚数を減らした」7、「送る相手の数を絞った」1。「従来通り」が大半。方法は郵送がほとんどで、「新聞折り込み」1、「イベントで従業員が配る」1、「持ち込めるところへは直接」1、「公立施設では府内便や連絡便で」2、「市職員が配達」1など。

「作らない」「やめた」ところもあった。理由は「企画展をやめたから」1、「予算や人員の都合」1、「ホームページと新聞の告知欄活用」1、「パンフを送る」1、理由不明1。SNSも活用するところが多数だが、情報を「商店組合のホームページに入れてもらう」という団体もあった。

作業は職員だけのところが多く19カ所。「アルバイトのみ」3。残りは職員とアルバイト・ボランティアで。日数は「2日以内」20、「3日、4～5日」4。「7日」1。送付先は30から3600カ所（佐渡博物館）まで、総枚数も100枚から最高3万枚（県立近代美術館、同歴史博物館）と幅があった。（記入31館）

「チラシ・ポスターを見て来館している」と、必要性を指摘する声も多く、ほとんどの館・団体が「今まで通り作る」と回答した。



出前講座「吉田東伍のネットワーク」

◇「相関図から見る吉田東伍の人物ネットワーク」（6年11月9日、阿賀野市の安田交流センター風とぴあ）
担当＝当館・石垣雅美学芸員
阿賀野市出身の歴史地理学者吉田東伍（1864～1918年）の幅広い人間関係について講演した。

めとする著書執筆や研究分野で関係のあつた人たちと東伍のつながりを、相関図をもとに紹介。参考

吉田東伍相闘図

者は、東伍が研究分野を超えてさまざま

記念博物館はそれぞれ東伍の生誕160年を記念し、企画展を開いた。相関図は石垣学芸員が作成し、記憶館の企画展で展示了した。

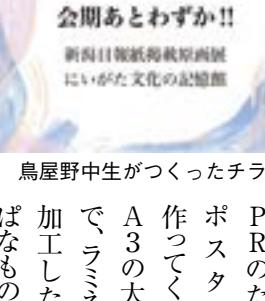
■職場体験

教育機関との連携

新潟市立鳥屋野中学校2年生3人。（6年7月2、3日）

ポスターの貼り替えや受付での来

鳥屋野中生が制作した記憶館 ポスター



館者対応、企画展が間もなく終わることを知らせるチラシを作った。チラシはメディアシップビルの1階にあるポスター掲示場所に貼った。

(5月16日)、小針中2年生5人
月5日) (7)

開志専門職大学（本部・新潟市中央区紫竹山）アニメ・マンガ学部？年生3人（6月～8月）
5年度企画展で取り上げた作家新井満を4コマ漫画にする課題に挑戦した。新井の多方面にわたる創作活動について学び、エピソードをどう表現するか、3人でさまざまなアイデアを出し合い取り組んだ。また、県内中学校に送る文化人パンフレットの発送作業をした。

新潟市立鳥屋野中学校2年生 3人。（6年7月2、3日）
ボスターの貼り替えや受付での来

新潟市立寄居中学校

4
人

分野を超えた知の巨人

II 前吉田東伍記念博物館館長・渡辺史生さん語る II

分がいる場所から歴史を眺めていく
という東伍の思想を反映したものだ。

3・11と貞觀地震

吉田東伍は『地名辞書』の編さん過程で、平安時代の869年に

東北地方を襲った大地震・津波についても論考をまとめている。そ

の論考が2011年3月の東日本大震災を契機に、いわば再発見と

いう形で注目される。

渡辺 2011年3月11日に東日本大震災が起きた。そのとき「千年

に一度の地震だ。想定外だ」とみんな言つた。実際、1100年以上前の平安時代、同じエリアで同じような規模の地震が起きている。貞觀地

震と言われる地震だ。

東伍がこの地震のことを研究し、明治39（1906）年に『貞觀十一
年陸奥府城の震動洪溢』という論文

を発表していた。このことが分かったのは、3・11で、福島から新潟に

多くの人が避難してこられたとき、阿賀野市の避難所に届けられた新聞の中に「この地震は貞觀地震の再来」という文言があつたからだ。

想定外ではない
渡辺 それを見て確かに東伍の論文

の中で「貞觀」という文字があったはずだと、「歴史地理」という雑誌の復刻版を見て驚いた。明治39年12月に『貞觀十一年陸奥府城』という論文を書いていた。3・11は「想定外、誰も知らなかつた地震だ」と報道されているが、似たような災害が千年前に起きていた。

当館の友の会のブログに解説をつけて全文を載せたら、普段1日1桁のアクセスが3桁に増えた。「吉田東伍」というのが貞觀地震を研究している」と専門家の間でも話題になり、大きな反響を呼んだ。

関東大震災を予言し地震の神様といわれた今村明恒という人も貞觀地震を研究していた。東伍がこの人よりも前に研究していて、東伍が貞觀地震研究の先駆者ということが分かり、注目された。

吉田東伍は地震被害のあつたと思われる地域で、幾つかの城郭に

注目し、その位置や土地の起伏、河川水系を調べ、論文の中で津波の到達点を結論づけている。

渡辺 平安時代の三代の天皇の事績を記した書物『三代実録』という

のがある。その清和天皇の時代の部分に貞觀地震の記載「陸奥に地震があつて城のところまで水が迫つた」



「超域学者」吉田東伍 講演会

地名、能楽、倒叙日本史

×

×

歴史地理学者吉田東伍（1864～1918年、阿賀野市安田出身）の偉業を学ぶ講演会「超域学者」吉田東伍の仕事その災害史研究（貞觀地震・津波論文）から観る」を開いた。吉田東伍記念博物館の前館長渡辺史生さんは東伍の業績と東伍が現代のわれわれに問い合わせることについて語った。東伍は13年の歳月をかけ一人で項目数4万を超す『大日本地名辞書』を著し、その研究は能や災害にも及んだ。そして地誌を学ぶことの大切さを説いた。

渡辺 超域という言葉は広辞苑には載っていないが、東伍の項では経歷と主要な著作として『大日本地名辞書』『世阿弥十六部集』『倒叙日本史』の三つを挙げている。『大日本地名辞書』も『世阿弥十六部集』も項目を立てている。つまり広辞苑には人名を含め三カ所に東伍の名前が出ている。こ

吉田東伍 旗野家に生まれる。19歳小学校教員検定合格、20歳吉田家へ養子に、長女カツミと結婚。21歳兵役志願、仙台へ。28歳読売新聞社入社、日清戦争に従軍。31歳『大日本地名辞書』起稿（12年後に完成）。44歳世阿弥伝書十六部発見、翌年刊行、文学博士。47歳早大教授。歴史や治水に関する著書多数。



吉田東伍の研究対象は多岐にわたった

置いてほかの人を思う気持ちを持つたなら波が末の松山を越えてしまつ。つまり前提として波は越えないというのがこの歌枕の持つている意味だ。次に百人一首。清少納言の父・清原元輔の「契りきなかたみに袖をしほりつつ木の松山なみこさじとは」。幾度も涙で袖を絞りながら約束した。あの末の松山をどんな大きな波でも決して越さないと同様、二人の仲も末永く変わらない。「末の松山」はそういうたえになつた。

「末の松山」は多賀城市にあり、島のように残つてゐる。東日本大震災とあつた。東伍は「城のところまで」は「津波が多賀城の城下にまで達した」ということだと、初めて論証した。宮城県の多賀城市だ。貞觀地震の痕跡が多数あるのだと言い、平野部には津波の痕跡があつたと推測している。既にこう指摘されているのに、なぜ東日本大震災が想定外といえるのか分からぬ。

渡辺 仙台で図書館通り

なぜ東伍がこの論文を書くことができたのか。東伍は21歳のとき、志願兵として仙台に行つてゐる。休みの日には師範学校の図書館に通い詰めた。そのとき読んだ仙台周辺の地誌「奥羽観蹟聞老志」に歌枕のこととかなり詳しく書いてあつた。それがきっかけだった。

吉田東伍はまた、和歌に詠まれている歌枕「末の松山」を手掛けたりに貞觀地震の津波の及んだ範囲を推測する。

渡辺 古今和歌集の「君をおきてあだしこころをわがもたば木の松山なみもこえなむ」。私があなたを差し



東伍の地震研究関連の展示

津波の位置と和歌の歌枕

吉田東伍はまた、和歌に詠まれている歌枕「末の松山」を手掛けたりに貞觀地震の津波の及んだ範囲を推測する。

渡辺 古今和歌集の「君をおきてあだしこころをわがもたば木の松山なみもこえなむ」。私があなたを差し

でも波はここを越えなかつた。東日本大震災前まではこの歌枕は、仙台藩が想像で適当に当てはめたという説があつて、どこなのかは特定はできぬという研究者もいた。多賀城市史にもそういう記述がある。単に風光明媚な、波がざぶーんとかかり、松の木が生えているところだというふうに考えられていたが、そんなことはない。

東伍の論文が再発見されて以降は、末の松山は間違なくこの多賀城市の場所で、それを平安時代の人が歌にしたと解釈されるようになつた。

吉田東伍の研究姿勢は現代の地震研究者に影響を与えた。

3・11の2カ月後に開かれた中央防災会議で「科学だけではなく地形、過去の町のでき方、歴史、和歌なども分析して進め、科学だけに頼らない調査研究が必要だ」という発言があつた。明らかに東伍の論文を受けたの發言だ。東伍の論文のおかげでそういうものも分析した方がいいのではないかという考え方萌生えた。

それまでは、地震の研究や津波の研究・分析は、どちらかといえば理系の専門家がやつていた。百人一首はその研究家が研究すればいい、私は地震の研究をやります、と。それが、人文科学の研究成果も必要だというふうに流れが変わってきた。

その領域を超えるというのが超域

去と現在とをどう結び付けるか。文学には昔と今とをつなぐ接点としての意義がある」と。東伍の論文の公開から13年しかたっていない。その成果が、末の松山の話が教科書に載つたことに驚いた。

だ。それはまさに地誌の世界「ある地域の自然・文化などの地理的現象を記述してその地域の特色を示したもの」だ。論文に百人一首を取り上げたのは、そういった観点からだ。

川を知り、土地の歴史を学ぶ

吉田東伍は関東平野を流れる利根川についても研究し、新潟の加治川に関して講演をしている。「水害を防ぐには川のことを詳らかにせよ」と。

森羅万象を扱う、それが地誌

渡辺『大日本地名辞書』の序文で東伍は「本書は地誌である」といつていて。地誌とは「ある地域の自然・文化などの地理的現象を記述してその地域の特色を示したもの」とある。その地域の人文科学の成果、自然科学の成果それを総合したものが地誌だと。

今で言うと、これは経済だ、政治だ、これは地学だ、植物だ、動物だと、いろんな区分があるが、地誌はそれらを総ぐみにして記述したもので、極端にいうと森羅万象全部扱う分野ということ。しかも、ローカルエリアという狭い範囲の郷土史ではなく、東伍は日本全土を統合した地誌を作った。それまでにない地名のデータベースだ。



東伍の著した『大日本地名辞書』

渡辺 明治43年、関東一帯を大水害が襲つた。利根川大洪水だ。大きな被害が出た。東伍はその4、5年前から利根川の流路の変遷や、どんな治水対策がとられたかなどを研究していた。それをもとに東京神田で講演した。人間というものは水とともに生活して水とともに戦う。それが人間本来の性質だ」というようなことを言っている。群馬での講演では「郷土の地理、郷土の歴史というのはとりもなおさず、郷土の未来に向かってそ

の応用を待つことだ」と述べた。何のために歴史を研究するのか。未来のためだということ。このことをうちの館のテーマにしている。

研究と講演内容をまとめた『利根治水論考』は、東伍の歴史地理学の中で主著に近い大論文だ。

加治川については大正8（1919）年、新発田で講演し、地誌の必要性を述べている。土地の変遷を調べることが大事だと。土地の変遷といつても人間の生活がその上

で営まれているから、人間の歴史を調べるべきだと。そして「川の性質由来をつまびらにすることだ。そのことをよく研究しておかないと、ひとたび災害が起きたときもものである。人体生理をつかれば、救済を誤ることがある」とし、「これはあたかも病の人体におけるがごときものである。人体生理をつまびらかにしないと疾患を治すことはできない」。水害を永遠に防ごうとするにも「すべからく河川の性質を、概要をつまびらかにしてこれを愛護することが肝要である」と。

郷土史研究の素材提供

漢字のデータベースとも言えべき大漢和辞典を作った人物が諸橋轍次博士。越後人はデータベースづくりの先駆者を二人も出している。誇つていい。

日本史の教科書に載る

最後に渡辺さんは、東伍を取り上げた日本史の教科書があることを紹介し、その「はしがき」を読み上げた。〈吉田東伍を歴史研究に駆り立てたのは何か。：近代化の中で置き去りにされた人々を見つめ直そうとして、地域にどのような暮らしがあったか、その答えを見つけようとしたのではないか。

：英雄の活躍ではなく記録に残らない人たちの、生きた証しを探し、喜怒哀楽に思いを馳せる。それが歴史に向き合う大事な姿勢だと東伍の研究に学ぶべきだ〉。渡辺さんは「東伍の研究は以上で言い尽くされている」と締めくくつた。



講演する渡辺史生さん

私が大阪に旅行しようとして大阪のことを調べるには、今であればインターネットがあるが、それまでは専門の書物を読むか人に尋ねるしかない。そういう意味で東伍はデータベースづくりの先駆者だ。

（6年10月9日、メディアシップ）

紙面を彩った画家と作品 豊かな文化が根付く

新潟日報が大きな役割

-美術評論家・横山秀樹さん講演-

県展が果たした役割

きた。朝鮮戦争（1950～53）の特需もあり、高度成長に入る。その中で日本が豊かになってきたときに、それを支えていたのが文化だといわれている。

県展が昭和昭和20年から始まりた。著名な作家が審査員を務めた。

氏名の後のカッコ内は審査年。平成以外は昭和。《》は作品名。

横山 岩田正巳（21年～23年、25年）は大正から昭和時代、松岡映久に師事した。やまと絵を描いていた。

まじめな人で、一つの絵を何度も見直し、時間かけて描いた。《雪をきく》に、詩人村野四郎の文章。新潟の雪をテーマに頼んだのだと思う。

小野末（48年）は一水会に属した洋画家。小野は安井曾太郎の子供の家庭教師をして一緒に住んで描いていた。安井の死後、安井賞展というものができてその審査員をやつた。

富岡惣一郎（平成4年）はシルクスクリーンの技法で下塗りをつくり、その上に黒い絵の具を塗る。そこへ独自に作ったトミオカホワイトを塗つて、ひっかくという技法。描いているときは大丈夫でも時間がたつと割れる。絵の具の改良をした。《越後山脈》は描き削ったような形だ。

横山 新潟日報社には昭和30年代、40年代、紙面を飾った有名な作家の作品が数十点ある。

その人たちは後に文化勲章をもらったり、文化功労者や日本芸術院会員になつたりした。文化的環境が豊かだった。戦争が終わって昭和20年から30年にかけて日本は復興して

して現在も活躍している。令和5年一度の芸術院賞を受賞した。

県展審査員は、戦時中新潟に疎開していた著名な作家に依頼する

ことが多かった。

横山 竹谷富士雄（20年～24年と、52年）は中蒲原出身。竹谷も疎開していた。大きな作品が残っている。小杉放菴（20年）は栃木生まれ。新潟の人は知らない人が多い。赤倉に疎開して別荘を持っていた。郷倉千鶴（20年、27年）は富山県人で、郷倉も赤倉に別荘があった。

そのほか橋本明治（42年）田崎廣助（39年）東山魁夷（34年）。森

田曠平（51年）東郷青児（43年）。森加山又造（39年）の名前が挙がった。そうそうたる顔ぶれだ。

横山 審査員をやって日報に絵を描いてくれた人、紙面に絵をお願いしてその後、審査員を引き受けた人。県展とリンクして新潟の文化が形成され根付いて今日まできた。その役割を新潟日報が果たした。



絵を映しながら講演する横山秀樹さん

紙面を彩る作家たち

審査員以外にも多くの作家が紙面に登場している。（）は掲載年

＝昭和。《》は作品名。

らいもらつてもおかしくない作家だ。画家は、制作年月日、どこの画商にいくらで売ったという手控え帳というのを持っている。操の《弥彦山》（42年）は新潟日報が発注して描いてもらつた。

横山 戦後、昭和25年にシベリア抑留から復員して後、活躍した画家が横山操だ。53歳で亡くなり、活躍

49年に新潟県美術博物館（県立近代美術館の前身）が操の遺作展を開いた。その時、博物館では作品を購入できず、個人が買つた。後に、その人

物が亡くなると親族が作品を手放した。そのとき購入することができた。操は永井龍男の新聞小説「石版東京図絵」（昭和42年、毎日新聞）の挿絵や芥川龍之介の全集の口絵も描いている。操自身（挿絵を描くことに）こだわりがなかつたのだと思う。

野生のトキを題材にした吉岡堅二の『朱鷺』（38年）には宮松二の長歌「朱鷺幻想」が添えられている。

ほかに、母親が佐渡出身の山下清、木下孝則、堀文子、林武、影絵作家の藤城清治、海老原喜之助、奥村土牛、棟方志功の作品が紙面に載っていることが紹介され



「ふるさとの作家たち」講演会

横山 中央の作家の作品（絵、詩やエッセー）は、新潟のこと書いたものもある。1年間書いてもらつていて、今の中絶でもできないことでもある。横山 横山さんは、新潟のこと書いたものが多い。そのように頼んだようだ。伊東深水は、新潟に招いて描いてもらつた。それが芸妓を描いた『新粋』（41年）。詩人深尾須磨子が書いた詩「おのずから美」が添えてある。

横山さんは、新潟日報が、当時すでに著名な作家に作品を依頼していたことに驚く。その一つが夕刊の週1連載「夕閑帖」だ。武者

小路実篤が文章とカットを描いている。

横山 実篤は小説家で詩人で画家である。中央の作家の作品（絵、詩やエッセー）は、新潟のこと書いたものもある。1年間書いてもらつていて、今の中絶でもできないことでもある。

長井亮之も描いている。『花』は長三淵嘉子さんも寄稿）に関屋俊彦の絵がある。

横山 中央の作家の作品（絵、詩やエッセー）は、新潟のこと書いたものもある。1年間書いてもらつていて、今の中絶でもできないことでもある。

新聞に重宝された挿絵

=挿絵で作家が育つ=

横山 ジャンルでいうと挿絵は版画。版画というと、浮世絵までさかのぼる。浮世草子とか草双紙があるが、ああいうものについている版画も挿絵に分類していいだろう。

日本で新聞や雑誌で挿絵が使われたのは明治時代から。明治7(1874)年、絵入り新聞社が発行した東京ひらがな絵入り新聞、そこに添えられた絵が始まりだといわれている。明治時代の新聞は、写真を使うより挿絵の方が安くあがつたみたいだ。新聞社にはお抱えの画家がいて挿絵的なもの、いろんなものを描いていた。

ところが『シルクロード』で知られる平山郁夫氏が理事長になつたら、仏教絡みの作品が入選するようになり、風土性や土着性豊かに描かれた作品が入らなくなつた。丹漾が長生きしていれば違つていたのではない。

いま『河口暮色』のような風景は見られない。『凍』は駅で汽車を待つ人々。角巻をしている。丹漾は郷土色豊かな絵を描いていた。

三輪晃勢の『トキ』（52年）は新潟日報の『ふるさとを描く』シリーズの1枚。『木屋町の家』は京都の木屋町。直線で構成した非常に斬新な絵だ。日展ではこういう絵を描く人がいなかつた。

井さんの性格で、凡帳面で非常に完成度が高い絵だ。

風土性ということ

横山 小島丹漾は新潟市のシモの出身。三越の意匠部で図案を描いていた。風土性の強い絵を描いた。『越後新雪・越後湯沢にて』（48年）

酒井三良という福島出身の作家がいた。小島とともに風土性の豊かな絵を描いた。この人たちが生きているときにそういう作品が院展に入つて育つ。

新潟県内の文化人顕彰施設・団体からのPR情報

2 佐渡歴史伝説館

佐々木象堂

佐渡市真野655
0259(55)2525

佐渡の人間国宝・佐々木象堂の足跡を辿ることができます。象堂の情熱と技術が息づく芸術の世界に触れ、心に残るひとときをお楽しみください。

佐渡、下越（新潟市含む）、中越、上越の市町村別（新潟市は行政区ごとに）、50音順に掲載。開館日、開館時間など詳細は各施設・団体にお尋ねください。各館の情報は、にいがた文化の記憶館ホームページでも紹介しています。

00 館名／団体名

顕彰している新潟ゆかりの文化人

PASS
PR情報
電話番号
住所

3 卷菱湖記念時代館

卷菱湖／館柳湾／亀田鵬斎など
空海御生誕1250年企画「空海の庫を開く」と題し、文字文化遺産をウェブ・書籍からご覧いただける企画を進めています。時を超えて現存する墨宝は各自存在意義があり、過去から現代、現代から未来へ文化遺産を引き継いでいます。

PASS
新潟市東区河渡庚296-33
080(4159)2581

1 佐渡博物館

佐渡市八幡2041
0259(52)2447

佐渡の自然・歴史・芸能などの資料を展示する総合博物館です。常設展示室のほかにも中庭では佐渡島内の岩石からなるロックガーデンをご覧いただけます。

4 「安吾 風の館」事業室

坂口安吾
新潟市中央区西堀前通六番町894-1
西堀六番館ビル5階
025(222)3062

新潟市出身の作家、坂口安吾を顕彰するため、遺品・所蔵資料を活用した展示や安吾作品の解説・講演を行っています。ホームページ「坂口安吾デジタルミュージアム」にて情報発信しています。ぜひご覧ください。

NST
News

タッチ

NST 月～金曜 午後6時09分放送

日本最大級29の専門学校

あらゆるジャンルをカバーする
248学科485コース



NSGカレッジリーグ



コニカミノルタNC株式会社

本社 〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地1-2-13
TEL (025)383-3000 FAX (025)383-3001
URL <http://www.konicaminoltanc.jp>
富山支店 / 長岡営業所 / 新發田営業所 / 上越サービスステーション
業務内容：コニカミノルタ複合機 bizhub・医療機器・
商用印刷機の販売及び保守
イベント機器のレンタル 他

就職に強い！開志専門職大学

就職情報は
こちらから▶

Kaisei Professional University



愛され 選ばれる ゴルフ倶楽部を創ろう



紫雲ゴルフ倶楽部
〒957-0236 新潟県新発田市元郷211
TEL.0254(41)2471 FAX.0254(41)3174
<https://www.shun-gc.co.jp>

会津八一が愛した
新潟の和菓子

里 仙



本店 / 新潟市中央区古町13
☎(025) 228-9234(代)

発信します 伝えます

5 安吾の会

坂口安吾

新潟市中央区八千代2-1-1

新潟市民映画館シネ・ウインド内

025(243)5530

1987年10月20日発足。会報「安吾雑報」、研究誌「安吾探索ノート」発行。「新潟安吾忌」を主催するほか、読書会や街歩きを実施。「安吾生誕祭」企画・運営。読書会、定例会の日時・会場は直接お問い合わせください。

8 敦井美術館

敦井榮吉

新潟市中央区東大通1-2-1-3

北陸ビル

025(247)3311

近・現代の日本画・陶芸を中心に、洋画や彫刻・木漆工芸など幅広い所蔵品による企画展を年4回開催しています。2025年度は「彫刻と金工展」「栗木達介と現代陶芸展」「秋の絵画工芸展」などを予定しております。

11 新潟市立中央図書館(ほんぽーと)

吉屋信子／鷺尾雨工など

新潟市中央区明石2-1-1-10

025(246)7700

顕彰人物である5人を中心、新潟市ゆかりの文人にについての関連資料を収集しています。2階特別コレクション室では、新潟市ゆかりの文人などをテーマに、出版当時の貴重な資料を含めた企画展を年数回実施しています。

14 新潟良寛会

良寛

新潟市中央区古町通4

考古堂ビル内

025(229)4058

毎年4月に総会と記念講演会、良寛・貞心尼法要。秋に研修旅行、良寛講座3回。良寛碑・像の清掃ボランティアなど良寛の慈愛の心を広める活動。会員募集(会費・年2千円)。行事には会員以外の参加も歓迎。

6 秋艸会(しゅうそうかい)

會津八一

新潟市中央区万代3-1-1

メディアシップ5階會津八一記念館内

025(282)7612

秋艸道人・會津八一を顕彰し文芸に触れる新潟市會津八一記念館友の会です。会報「秋艸」を年2回発行。記念館の企画展等を紹介し八一に関する投稿掲載など全国の会員を繋いでいます。命日(11月21日)には「秋艸道人忌」を主催。

9 新潟県立図書館

全般

新潟市中央区女池南3-1-2

025(284)6001

1915年の創立から収集してきた蔵書96万冊のうち、約14万冊が新潟県人関係資料を含む郷土資料です。当館ホームページで公開している越後佐渡デジタルライブラリーでは、貴重な郷土資料を画像でご覧いただけます。

13 新潟大学旭町学術資料展示館

中田瑞穂ほか

新潟市中央区旭町通2番町7-46

025(227)2260

1975年に地元企業や一般市民の浄財をもとに建設された會津八一記念館は、移転を経て今年で開館50周年を迎えます。八一の研究者や八一が「酷愛」した奈良の有名寺院から講師を招く連続講演会を中心に皆様をお迎えします。

12 新潟市歴史博物館(みなどりあ)

全般

新潟市中央区柳島町2-1-10

025(225)6111

PASS
令和/年度春季企画展は「にいがたしごと・ものづくり」展(4/12~6/8)を開催します。豊かな自然に囲まれ、歴史・文化を育んできた新潟の「て」ことや「ものづくり」とくらしとの関わりから、地域の魅力を再発見していく機会とします。

16 吉田千秋・ちあきの会(吉田文庫内)

吉田千秋

新潟市秋葉区大鹿6-2-4

0250(23)7070

「琵琶湖周航の歌」原曲作曲者「吉田千秋(吉田東伍の次男)」の周知活動を続けています。小中学校での学びのお手伝いやコラボイベントへの情報提供で、春秋生家は非公開となっています。

15 北方文化博物館

伊藤家ゆかりの人物/その他

新潟市江南区沢海2-15-25

025(385)2001

越後隨一の大地主、伊藤家の遺構を博物館として公開しています。1882年から8年をかけて建設された大邸宅、大広間から眺める泡泉回遊式庭園など、新潟の四季とともに地域や地主の歴史、所蔵美術品を紹介しています。鎌倉時代の高僧・雪村友梅の書軸「梅花詩」(重要文化財)を所蔵。

7 全国良寛会

良寛

新潟市中央区南浜通2

北方文化博物館新潟分館内

「裏を見せ表を見せて散る紅葉」一良寛はこんな句を残しました。手にした理想の時間を楽しむ歌があります。「この里に手まりつきつ子供だと遊ぶ春日はくれずともよし」。人生の伴侣に、良寛はいかがですか。

10 新潟市會津八一記念館

會津八一

新潟市中央区万代3-1-1

メディアシップ5階

1975年に地元企業や一般市民の浄財をもとに建設された會津八一記念館は、移転を経て今年で開館50周年を迎えます。八一の研究者や八一が「酷愛」した奈良の有名寺院から講師を招く連続講演会を中心に皆様をお迎えします。

11 新潟市立中央図書館(ほんぽーと)

吉田千秋

新潟市中央区南浜通2

北方文化博物館新潟分館内

「裏を見せ表を見せて散る紅葉」一良寛はこんな句を残しました。手にした理想の時間を楽しむ歌があります。「この里に手まりつきつ子供だと遊ぶ春日はくれずともよし」。人生の伴侣に、良寛はいかがですか。

19 越佐文人研究会

良寛・曾津八一の周辺人物
新潟市西蒲区下山340-2
0256(88)5335

7月新潟市中央区、10月西蒲区、11月新発田市内で書画文芸展を開催。11月総会および機関誌28号を発行します。

18 雪梁舎美術館

新潟県ゆかりの美術家
新潟市西区山田451
025(377)1888

86畳敷きの展示室を有する美術館です。毎年夏には美術育成を目的とした全国絵画公募展「フィレンツエ賞展」を開催し、大賞受賞者にイタリア・フィレンツエ市の研修を授与しています。常設展のマイセン磁器・シャガールの版画のほか、年間を通して企画展を催しています。

17 新潟市曾我・平澤記念館

曾我量深／平澤興
新潟市南区味方213-1
025(373)6600

記念館では、旧味方村名譽村民「曾我量深(第17代大谷大学学長)」「平澤興(第16代京都大学総長)」おふたりの愛用品や出版物他、功績を讃える遺品を展示しています。

22 新潟市中之口先人館

羽黒山政司／小柳司氣太／大川博
新潟市西蒲区中之口363
025(375)1112

中之口出身でさまざまな分野で活躍した先人の業績を示す資料を展示しています。特に第36代横綱羽黒山政司の資料がたくさん展示されています。ほか小柳司氣太や大川博の資料も展示しています。

**21 新潟市潟東樋口記念美術館
新潟市潟東歴史民俗資料館**

赤塚不二夫／尾竹三兄弟／金子孝信
新潟市西蒲区三方92
0256(86)3444

多岐に渡る樋口顕嗣氏寄贈作品・郷土ゆかりの作家作品(赤塚不二夫・尾竹三兄弟・安宅安五郎・長谷川秋一郎・福富雪底他)・金子孝信作品・ありし日の鎧潟資料を展示しています。また、秋には特別展を開催する予定です。

20 遠藤実記念館 実唱館

遠藤実
新潟市西蒲区越前浜6913-1
0256(77)2777

「昭和歌謡の聖地」として、作曲家・遠藤実が心のふるさとである新潟にその足跡を残した音楽の館。今もなお色褪ることのない「遠藤実メロディー」を耳で体感いただけます。カラオケ喫茶のステージで歌えます。

大光銀行
〒940-8651
長岡市大手通1丁目5番地6
<http://www.taikobank.jp/> [検索]

我々の使命は、お客様に感動と喜びをお届けすること。
SHINSEN Co.,Ltd.
株式会社 新宣
<https://shinsen.biz/>
〒950-0983 新潟市中央区神道寺2-3-4
TEL 025-243-6827(代) FAX 025-241-0768

『伝えたい』を
多彩に、
クリエイティブに。
<https://www.dip.co.jp/>

DIPalette TEL 025(285)7161代 〈企画開発本部〉
本社/〒950-8724 新潟市中央区和合町2丁目4番18号 第一和合ビル

第四北越銀行
サステナブルな社会の実現に貢献します

「安全第一で荷主に信頼される会社」
「常に変革し続ける会社」

新潟鉄道荷物株式会社
〒 950-0868 新潟市東区紫竹卸新町1080-10
TEL 025-270-5163
FAX 025-270-2183

スマホ防犯は、ALSOK。
HOME ALSOK Connect
ALways Security OK
ALSOK サンキュー ツ ヨ イ ミカタ
0120-39-2413 (24時間 365日受付)
<https://www.ngalsok.co.jp/> [検索]

発信します 伝えます

23 市島邸

市島家ゆかりの人物

新発田市天王1-5-6
0254(32)2555

市島邸資料館では、市島家の歴史を伝える企画展示を行っております。600坪に及ぶ県指定文化財の母屋と桜や約150本の梅の花・紫陽花・紅葉・雪景色など、四季を通して魅力的な回遊式庭園をお楽しみください。

24 刀剣伝承館 天田昭次記念館

天田昭次

PASS 新発田市月岡温泉8-27
0254(32)1121

人間国宝・故天田昭次氏が月岡の地で挑んだ、自家製鉄による独創的な刀剣製作。鍛刀技術の追求の結晶を収蔵しています。太刀・脇差・短刀など、一般的な刀剣のみならず、七支刀などの特殊な形状をした刀剣も展示しています。

26 燕市 長善館史料館

鈴木文臺／鈴木虎雄／長善館ゆかりの人物

燕市粟生津9-7
0256(93)5400

長善館は、1833年から1912年までの80年間に1000人以上の入材を輩出した私塾です。館内には、塾の歩みや特色ある教育内容、卒業生の業績等を紹介しています。文化勲章を受章した鈴木虎雄博士の漢詩や遺品なども展示しています。

27 燕市分水良寛史料館

良寛

PASS 燕市上諏訪9-9
0256(97)2428

良寛書の中でも珠玉の名品といわれる国・県指定文化財の作品を春、秋の二回特別展として公開し、県内外の多くの人々から良寛芸術の真髄に触れてもらい、良寛を支えた地域の人と文化風土を再認識し、学習する場とします。

29 春城会

市島春城

阿賀野市山口町2-3-25
0256(47)2208

春城生誕160年を記念して4年9月、生家離れ跡地に宿願の胸像建立が成了た。「館」はないが、顕彰と跡地保全のモニュメントができたので一人春城にとどまらず広く郷土の先人に光を当て、歴史・文化情報の受・発信の拠点にしていきたい。

32 諸橋轍次記念館

諸橋轍次

三条市庭月4-3-4-1
0256(47)2208

世界的な偉業と讃えられた『大漢和辞典』の編纂者、諸橋轍次。座右の銘は『論語』の「行不由徑」。自然豊かな故郷をこよなく愛し、漢学研究と教育の大道をひたむきに歩んだ諸橋轍次の生涯や功績、その人柄を紹介しています。

31 三条市歴史民俗産業資料館

長谷川嵐溪・村山半牧・大桃寛

PASS 三条市本町3-1-4
0256(33)4446

渡邊家11代当主の渡邊萬寿太郎は、現在の六三三制学校制度の礎となる「関谷学園」の創立に尽力しました。旧関谷村長として、江戸初期から続く渡邊家の「家の辯」に基づき、地域振興・文化発展に貢献しました。

33 駒形十吉記念美術館

駒形十吉

PASS 長岡市今朝白2-1-4
0258(35)6111

当館は、実業家駒形十吉晩年のコレクションを収蔵・展示する美術館です。静かな環境で速水御舟・村上華岳・加山又造・平山郁夫などの日本画、さらに陶芸もご覧いただけます。四季折々に変化する庭もお楽しみください。

25 路谷虹児記念館

路谷虹児

PASS 新発田市中央町4-1-1-7
0254(23)1013

路谷虹児は、新発田市の出身。大正から昭和にかけて活躍した挿絵画家・詩人です。日本画を学んでいた若き路谷虹児は、竹久夢二にその才能を見出され、挿絵画家としてデビュー。虹児の生涯を、戦前戦後。バリ時代までを代表作品で紹介。

28 阿賀野市立吉田東伍記念博物館

吉田東伍

PASS 阿賀野市保田1-7-25-1
0250(68)1200

吉田東伍は日本全土の地名を網羅する『大日本地名辞書』を獨力で編さんした歴史地理学のパイオニアです。彼はまた、世阿弥の伝書を発見し、能楽界に画期的貢献をするなど、日本文学史上ひとときわ異彩を放つ野人学者でした。

30 国指定重要文化財「渡邊邸」

渡邊萬寿太郎

PASS 関谷村下関9-04
0254(64)1002

渡邊家11代当主の渡邊萬寿太郎は、現在の六三三制学校制度の礎となる「関谷学園」の創立に尽力しました。旧関谷村長として、江戸初期から続く渡邊家の「家の辯」に基づき、地域振興・文化発展に貢献しました。

34 長岡市河井継之助記念館

河井継之助

PASS 長岡市長町1丁目甲1-6-7-5-1
0258(30)1525

河井継之助の生家跡に建つ記念館で、継之助が暮らした当時の面影が残る庭を眺めることができます。西国遊歴の際に記した旅日記『塵壺』や旅先の九州で購入した薬などゆかりの品を多数展示しています。

新潟県立近代美術館

全般

長岡市千秋3-278-1
0258(28)4111

長岡市の「千秋が原ふるさとの森」にある美術館。地元の収集家による「大光コレクション」を軸に、近代の流れを見せる国内作品や19世紀の西洋美術、県出身作家を中心とした「新潟の美術」など多くの名品がそろいます。

新潟県立歴史博物館

全般

長岡市関原町1丁目
字権現堂247-2
0258(47)6130

常設展示では縄文展示を中心とし、新潟県の歴史と文化を紹介。昭和30年代の雪国の雁木通りや、縄文人の四季の暮らしを実物大で復元しており、タイムスリップした気分を味わえます。様々なテーマによる企画展等も開催しています。

37 良寛の里美術館

良寛／由之／貞心尼

PASS
長岡市島崎3938
0258(74)3700

今年度は「良寛をめぐる人びと良寛の魅力」「地域の所蔵品展」を企画。来年は良寛と貞心尼の初対面から二百年を迎えるに先駆け特別展として「はちすの露」をテーマに制作した書家内山玲子の作品を通して、良寛の魅力や思いはもちろんのこと、敬愛する人々の思いを探ります。

小千谷市ひと・まち・文化 共創拠点「ホントカ。」

西脇順三郎 小千谷市本町1-13-35
0258(82)2724

西脇順三郎は日本の現代詩に大きな影響を与えた世界的な詩人で、ノーベル文学賞候補にも推薦されました。「ホントカ。」内の西脇順三郎ライブラリーでは、西脇が著した詩集を中心に、絵画や自筆原稿など関係資料を展示しています。



■ 小千谷市立図書館が西脇順三郎生誕130年にあたる6年9月、市中心部に移転し、ユニークなコンセプトの「ホントカ。」として開館。それに伴い、西脇コーナーも新しくなった。

新聞販売 折込総代理 広告代理 出版 保険代理



新潟日報メディアネット

Niigata Nippo Media Net

■ 黒崎本社

〒950-1179 新潟市西区善久 772-2
新潟日報社黒崎本社内
TEL: 025-211-3555 (代表) FAX: 025-211-3556

■ 流通本社

〒950-1125 新潟市西区流通3-1-1
TEL: 025-233-3311 (代表) FAX: 025-233-3700

<https://www.niigata-mn.co.jp>

お客様に感動を 社会と文化に貢献を

FUJIFILM
株式会社 **新潟フジカラー**

新潟市東区幸栄2丁目23番16号
TEL: 025-275-1341 FAX: 025-271-1402
<https://www.fuji-icom.co.jp>

ドコモショップ新潟南店 新潟市中央区上近江1-3-7
TEL: 025-288-0053

ドコモショップ新潟東店 新潟市東区新松崎1-7-5
TEL: 025-256-7522

ドコモショップ新潟中野店 新潟市東区若葉町2-4-5
TEL: 025-282-7752

にいがた元気+

にいがた 健活クラブ

会員募集中 入会費・年会費無料

新潟日報社では、県民が自立し健やかに暮らせるよう、「を目指せ!! 健康寿命日本一。にいがたプロジェクト」を開催しています。ともに学び健康づくりを実践する「にいがた健活クラブ」の会員を募集しています。あなたも健康寿命日本一を目指すメンバーになりませんか。

お問い合わせ

健寿プロジェクト事務局(新潟日報社 総合営業本部内) 〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1

TEL.025(385)7432(土日祝日を除く10:00~17:00) メール:genkiplus@niigata-nippo.co.jp



会員特典

- ①メルマガの配信(月2回)
- ②にいがた健活講座のアーカイブ限定公開(年3回)
- ③健康グッズなどプレゼント

会員登録の方法



こちらから
お申し込みいただけます。

[にいがた 健康寿命](http://www.niigata-nippo.co.jp/genkiplus) 検索



39

ドナルド・キーン・センター柏崎

柏崎市諏訪町10-1
0257(28)5755

日本文学研究者のドナルド・キーンを
その周辺から紹介しています。昨年新設
した企画展示室にて、今年は「ドナルド・
キーンと写真集『鎌鼬』」「ドナルド・キーンと
平和」など年間3回の企画展の開催
を予定しています。

40 魚沼市 宮松二記念館

宮松二

PASS
魚沼市堀之内117-6
025(794)3800

魚沼の風土が育んだ昭和を代表する歌
人宮松二の遺品や図書資料を収蔵・公開
しています。松二の書斎を再現する常設
展、テーマに基づく企画展、宮松二講座
と短歌セミナー、月例短歌教室などを開
催しています。宮松二記念館全国短歌大
会は三十一回目を迎えます。

42 鈴木牧之記念館

鈴木牧之

南魚沼市塩沢1112-2
025(782)9860

豪雪地に生まれた鈴木牧之は、雪深い
生活を伝えるため雪の本『北越雪譜(天
保8年刊)』を出版しました。雪国の民俗、
習慣、伝説、産業などについて著された
本書は、江戸でベストセラーとなり、当
館を代表する展示となっています。

43 南魚沼市トミオカホワイト美術館

富岡惣一郎

PASS
南魚沼市上葉師堂142
025(775)3646

上越市高田出身の洋画家・富岡惣一郎
が描いた「白の世界」シリーズを展示し
ています。雪の白に魅了され、自ら開発
した白油絵の具「トミオカホワイト」と
独自の技法で表された白の美をご覧くだ
さい。

41 池田記念美術館

44 良寛記念館

良寛

南魚沼市浦佐5493-3
025(780)4080

出雲崎町大字米田1
0258(78)2370

スポーツ専門誌を創刊し出版業界で活
躍した池田恒雄がコレクションした美術
品やスポーツ関係資料を収蔵、展示して
います。その他、文豪小泉八雲の手紙や
遺愛の品などを展示する小泉八雲文学資
料室もあります。また、企画展を毎年数
多く開催しています。

良寛記念館は、僧侶で書家・歌人でも
あり「越後の英雄」と呼ばれた良寛の出
生地の出雲崎町にある美術館です。年に
3回ほどの企画展を行い、「日本書道の究
極美」といわれる良寛の遺墨をご紹介し
ています。

イワコンハウス新潟株式会社、株式会社NST新潟総合テ
レビ、岡三にいがた証券株式会社、グリーン産業株式会社、
クリエイティブ・サポート株式会社、株式会社コム、株式
会社新宣、セコム上信越株式会社、株式会社DI Palette、株
式会社大光銀行、株式会社第四北越銀行、田村紙商事株式
会社、長岡造形大学、新潟県信用組合、新潟綜合警備保障
株式会社、国立大学法人新潟大学、株式会社新潟日報社、
一般財團法人新潟日報美術振興財團、株式会社新潟放送、
公益財團法人ビー・エス・エヌ教育文化振興基金、新潟税
理士法人深滝合同事務所、株式会社ブルボン、株式会社本
間組

熱いご支援ご協力に
心から感謝申し上げます

ニッポンの朝が見える。
THE TIME,
月~金
あさ 5:20 - 8:00
BSN

新潟税理士法人 深滝合同事務所

代表社員（税理士）	磯部 利行	■ 公益認定・移行申請手続支援業務
副所長（税理士）	根本 昌幸	■ 指定管理者申請手続支援業務
副所長（税理士）	上田 英明	■ 法人税・所得税・相続税・各種会計指導、 適正税制・公益法人会計・税務申告、 各種税金申告相談等
税理士	星野 拓也	■ 経営計画・資金計画・経営指導、 生命保険・損害保険等

〒950-2024
新潟市西区小新西3丁目15番7号
TEL: 025-267-4843 FAX: 025-265-3314
URL: <https://niigata-zeirishi.tkcnf.com/>



総合広告会社

株式会社

フジ・クリエイティブセンター

〒950-0993 新潟市中央区上所中3丁目11番8号
Tel.025-283-6000

<https://www.fuji-cc.co.jp>



湯沢町歴史民俗資料館「雪国館」

川端康成／その他

湯沢町大字湯沢354-1
025(784)3965

川端康成の小説『雪国』の情景を描いた日本画、ギャラリー、駒子のモデルといわれる芸者・松栄が昭和初期に住んだ部屋の一部を移築再現した「駒子の部屋」が見所。土器や古錢のほか、民具や農具も展示しています。

46 岩の原ワイナリー 川上善兵衛記念館

川上善兵衛

上越市大字北方1223
025(528)4002

岩の原葡萄園の創業者であり、「日本のワインぶどうの父」川上善兵衛が取り組んだぶどうの品種交雑やワイン作りの歴史がテーマ別に展示されています。

47 小川未明文学館

小川未明

上越市本城町8-30 高田図書館内
025(523)1083

「日本近代童話の父」といわれる小川未明のおいたちや業績、作品が生まれた背景などを紹介しています。未明童話を体験できる仕掛けもあり、毎月第2、第4日曜日にはお話し会を開催しています。

50 上越市立歴史博物館 「越後の都」の歴史

上越市本城町7-7 (高田城址公園内)

025(524)3120

常設展示では、「越後の都」をテーマに高田城と地域の歴史について資料はもちらん模型やVR映像を使ってわかりやすく紹介しています。令和7年度は「戦後80年記念 上越と戦争の記憶（仮称）」などの企画展を開催する予定です。

48 小林古径記念美術館

小林古径

上越市本城町7-1 (高田城址公園内)
025(523)8680

小林古径の作品とともに、上越市ゆかりの作家の作品を收集・展示する美術館です。東京都大田区南馬込から移築復原した小林古径邸と、再現された古径の画室もあわせてご覧いただけます。

49 坂口記念館 坂口謹一郎

上越市頸城区鶴ノ木148
025(530)3100

応用微生物学の世界的権威で「酒博士」として知られる坂口謹一郎博士の功績と酒造り道具の展示のほか、敷地内の雪椿の開花にあわせ4月1日から20日まで「坂口謹一郎博士と酒とつばきの祭典」を開催します。

51 前島記念館 前島密

前島密

上越市下池部1317-1
025(524)5550

本館の横に立つ石碑は表は渋沢栄一書、背面には坪内逍遙、市島謙吉、會津八一の撰文による「日本文明の大恩人がここで生まれた」の書き出しで功績が刻まれています。「日本近代化の父」に相応しい人格者です。

52 糸魚川歴史民俗資料館 《相馬御風記念館》

相馬御風

糸魚川市一の宮1-2-2
025(552)7471

明治から昭和にかけて多彩に活躍した郷土の文人・相馬御風の関係資料を中心収蔵・展示しています。企画展も随時開催しています。糸魚川駅近くの県史跡相馬御風宅にもぜひご来館ください。

編集後記

○：吉田東伍は図書館に1日行けば、

家で1週間は原稿書きができたという。そして一人で4万項目の地名辞書を編さん。超人的な能力としか言いようがない。

○：横山さんの講演で、新潟日報が県

展や紙面を通して本県の文化振興に大き

な役割を果たしてきたことを改めて実感。

紙面を飾った作家の顔ぶれがすごい。○：何でも電子化の時代だが、展覧会ではチラシやポスターは必要というご意見多数。「目に触れる」ポスター、「手に取れる」チラシ。スマホにはない強みだ。



学ぶ、知る、遊ぶ…記憶館刊行物

・「みんなで伝えようついがた文化の記憶」
郷土の先人の業績、歴史的意味付けなどを分かりやすく解説した読み物（A4判
191ページ、税とも1,527円）

・「にいがた偉人かるた」遊び

ながら、にいがたの文化人を学べる（①、税とも1,500円）

利 用 案 内

●開館時間
午前10時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

●休館日
月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、

展示替え期間
※事情により臨時休館する場合があります。

●入館料
一般 : 500円(400円)
学生(高校生以上) : 300円(240円)
中学生以下無料

※()内は団体20名以上

※団体観覧は当館まで連絡ください。

●交通のご案内

新潟駅からタクシー 約5分
徒歩 約15分

新潟空港からタクシー 約15分

にいがた文化の記憶館

〒950-0088
新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報メディアシップ5階

TEL 025(250)7171
FAX 025(250)7040
http://nnmc.jp